

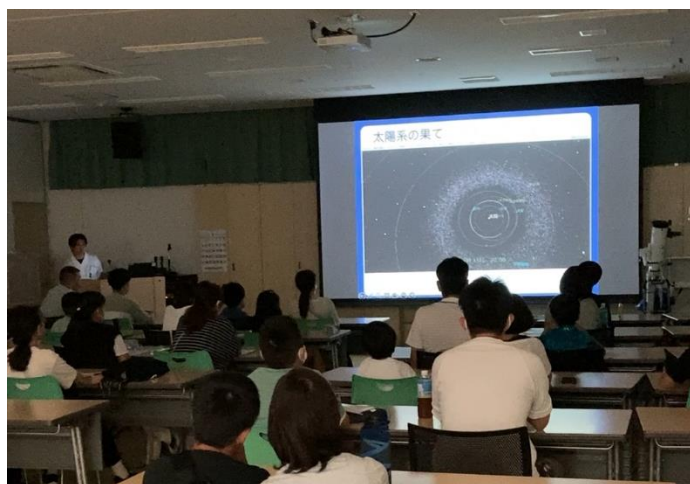
子ども未来館 天文部 春・夏	第2土曜日 18:30～20:00 (第1回: 4/12)
小学4～6年生と保護者1名 /20組 40名	春から夏にかけての星空を屋上で観察しながら、望遠鏡や宇宙・天文への興味を広げます。※雨天や曇天で星空が見えないなど、観察ができない場合には教室での講義のみとなります。※保護者の方1名もかならず一緒にご参加ください。(兄弟姉妹等の同伴はできません)※希望者は、開催予定の「手作り望遠鏡教室」(実費3500円程度)に参加できます。
講師: 松本 有香子 (東京大学理学部地球惑星環境学科)	

第二土曜日の夜、親子で星を眺めてみませんか。

本講座は「親と子で参加」になります。

子ども未来館の屋上からは意外に多くの星が見られます。

時には人工衛星が星空を横切るのもみつけることがあります。本で見た星座を実際にみつけられると、さらに知りたいこともたくさんでできます。それは天文に関係する研究をしている講師の先生が答えてくれます。



雨天でも実施します

曇っていたり、雨がふったりしたときには教室で天文のお話を聞きます。

星図の見方や望遠鏡の使い方、惑星や衛星、恒星など星の見方や宇宙の広がりなど、毎回テーマを変えて教えてくれます。

室内の手作りプラネタリウムや、スクリーンで天体シミュレーターを使いながら、太陽系や天の川銀河の天体やロケットなどの宇宙開発の話もします。さながら宇宙旅行気分で太陽の大きさや宇宙の大きさなどを知る機会になります。



屋上で自分の目で星空全体を見ます。

惑星や星団などは望遠鏡をつかってみることもあります。

流星群のころには江戸川の土手で星空を観察することもあります。より暗い星空が広がり、北極星や北斗七星をしっかりと見つけられます。

希望者には「手作り望遠鏡教室」もあります

手作りの望遠鏡でも、月のクレーターはもちろんですが、木星の惑星や土星の輪もみることができるとのことです。望遠鏡キットの代金、実費(3500円程度)がかかります。



組み立てるのにはおよそ1時間かかります。つくったあとは家にあるカメラの三脚などに固定し使います。使えるまでになれが必要ですが、自分の望遠鏡を手にする喜びも大きいようです。